



平成 30 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T A T E R U
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 古 木 大 咲
(コード番号：1435 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 C F O 経 営 管 理 本 部 長 高 杉 雄 介
(TEL. 03-6447-0651)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年 2 月 13 日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	76,611	7,113	7,099	4,815	60.91
今回修正予想 (B)	72,238	3,060	2,909	3,389	39.98
増減額 (B - A)	△4,373	△4,053	△4,190	△1,426	
増減率 (%)	△5.7	△57.0	△59.0	△29.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 12 月期)	67,016	5,898	5,863	3,995	51.52

2. 修正の理由

平成 30 年 8 月 31 日付「本日の一部報道について」にて公表しましたとおり、当社従業員が顧客から提供を受けた預金残高データを改ざんし、実際より多く見せて金融機関に提出し、融資審査を通りやすくしていた事実（以下、本件）が判明いたしました。

当該事実を受け、平成 30 年 9 月 4 日付「特別調査委員会の設置についてのお知らせ」にて公表しましたとおり、本件を含む本件と同様の書類の改ざんの有無の確認等及び調査の結果判明した事実を踏まえた再発防止に関する助言のため、平成 30 年 9 月 4 日付で外部の専門家アドバイザーを中心とした「特別調査委員会」を設置し、現在調査を進めております。

本件の影響により、TATERU Apartment 事業におきましては、顧客からの受注の取消しや工事の進捗悪化による引渡の遅延が発生していることから、当連結事業年度において当初計画をしておりました約 900 棟の引渡しに対し、約 180 棟数の引渡しの減少を見込んでおります。また、TATERU Funding 事業におきましては、平成 30 年 10 月以降の新規のファンドの組成を停止しております。

売上高は、従来よりも大型の物件の受注を獲得できたため 1 棟当たりの受注単価が当初計画を上回っているものの、上述の引渡し棟数の減少等の影響により、当初計画に対し 4,373 百万円減少し 72,238 百万円となる見込みとなりました。

また、費用面では、物件の大型化により、土地の仕入単価が当初計画を上回っているため、売上原価率は当初計画よりも上回っているものの、販売費及び一般管理費は、当初計画どおり推移しております。その結果、営業利益は 3,060 百万円（当初予算比 4,053 百万円減）、経常利益は 2,909 百万円（当初予算比 4,190 百万円減）となる見込みとなりました。

平成 30 年 9 月 10 日付「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、資産効率の向上および財務体質の強化を図るため、上場有価証券を売却しております。その結果、投資有価証券売却益 2,425 百万円を特別利益に計上いたしました。また、上述の特別調査委員会による特別調査費用として 200 百万円を特別損失として見込んでおります。

これらの結果、売上高、営業利益・経常利益・親会社株式に帰属する当期純利益が前回発表の予想数値を下回る見通しであります。

（注）上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上